

令和3年度

事業計画書  
収支予算書

公益財団法人兵庫県科学技術振興財団

## 目 次

### 令和3年度事業計画書

I 背景	1
II 背景を踏まえた本年度の事業計画	1
III 科学技術に関する助成及び普及啓発事業	
1. 兵庫県科学技術振興助成金の贈呈	1
(1) 新技術実施化の助成	
(2) 試作試験の助成	
2. 科学技術振興に関する普及啓発事業の実施	1
IV 健全な財政基盤の構築と事務局運営	2

### 令和3年度予算 正味財産増減計算書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)	3
----------------------	---

### 令和3年度収支予算書内訳表

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)	4
----------------------	---

# 令和3年度 事業計画書

## I. 背景

前年度は、新型コロナウイルスの感染者増加により2回の緊急事態宣言が発令され、経済や日常生活に深刻な事態をもたらしました。当財団においても、助成金選考委員会を開催し助成金交付は実施しましたが、生田神社会館で開催する「成果発表会」「助成金贈呈の会」は中止し、理事会、評議員会も一部は書面による評決といたしました。

本年度は、ワクチン接種などで社会環境は変化して行くと予測しますが、運営は前年同様に、その時の社会情勢に合わせた判断にならざるを得ないと考えています。

その様な状況であっても「兵庫 2030 年の展望」にある「起業立県実現プロジェクト」や「先端産業創造プロジェクト」などは粛々と進める必要があります。「スタートアップ企業」「成長期待産業」「マテリアル革命」「中小企業の生産性向上」などがキーワードです。助成金をトリガーとし、企業や研究機関の活性化が地域の活性化に繋がることを目標とし活動することが重要です。

## II. 背景を踏まえた本年度の事業計画

1. 兵庫県下の中小企業における科学技術の研究開発の発掘と助成を行う。
2. 科学技術の発展と科学思想の普及啓発を図り兵庫県の産業の振興と県民の生活及び福祉の向上に資する。
3. 公益財団法人の遵守事項に適合するよう各規定の整備を行い、安定した財政基盤に立った財団運営に取り組む。

## III. 科学技術に関する助成及び普及啓発事業

### 1. 兵庫県科学技術振興助成金の贈呈

#### (1) 新技術実施化の助成

県下における科学技術に関する新技術の実施化に対し、それに必要とする経費を助成する。

#### (2) 試作試験の助成

県下における科学技術に関する新技術の研究または試作試験に対し、それに必要とする経費を助成する。

### 2. 科学技術振興に関する普及啓発事業の実施

県民を対象として、科学技術に関する知識及び思想の普及啓発のための講演会実施、並びに協賛または当該事業に必要とする経費を助成する。

#### IV. 健全な財政基盤の構築事務局の運営

パンフレットの作成、ホームページの充実、他法人の機関紙などを通じ、幅広く事業の周知を図り助成金の応募件数並びに賛同者の増加に努める。

**令和3年度予算 正味財産増減計算書**  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

A	B	C	D	E
科 目	令和2年度予算	令和3年度予算	増減	備考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益				
兵庫県縁故債利息	2,140,000	2,140,000	0	
特定資産運用益				
みずほフィナンシャルグループ社債	28,200	28,200	0	
雑収益				
受取預金利息	10	0	△ 10	
経常収益計	2,168,210	2,168,200	△ 10	
(2) 経常費用				
① 事業費	1,666,000	1,803,000	137,000	
開発助成金	1,400,000	1,500,000	100,000	
委員会議費	12,000	15,000	3,000	
諸謝金	70,000	90,000	20,000	成果報告会プラス
通信運搬費	60,000	60,000	0	
消耗品費	40,000	50,000	10,000	
賃借料	84,000	88,000	4,000	成果報告会プラス
② 管理費	445,000	488,200	43,200	
会議費	80,000	100,000	20,000	改選期による
事務委託費	300,000	300,000	0	
消耗品費	50,000	70,000	20,000	改選期による
通信運搬費	10,000	15,000	5,000	
雑費	5,000	3,200	△ 1,800	
経常費用計	2,111,000	2,291,200	180,200	
当期経常増減額	57,210	△ 123,000	180,210	
他会計振替	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	
一般正味財産期首残高	7,665,500	7,855,491	189,991	令和元年度決算
一般正味財産期末残高	7,855,491	7,732,491	△ 123,000	令和2年度決算予測
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
受取補助金等	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0	
指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	
<b>III 正味財産期末残高</b>	207,855,491	207,732,491	△ 123,000	

令和3年度予算 収支予算書内訳表  
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

1	A 科 目	B 公益目的事業会計		C 法人会計	D 内部取引控除	E 合計
		研究開発助成金事業	小計			
2	<b>I 一般正味財産増減の部</b>					
3	1. 経常増減の部					
4	(1) 経常収益					
5	基本財産運用益 (74.1%公益率)	1,585,800	1,585,800	554,200	0	2,140,000
6	兵庫県縁故債利息	1,585,800	1,585,800	554,200	0	2,140,000
7	特定資産運用益	28,200	28,200	0	0	28,200
8	研究開発助成金資金	28,200	28,200	0	0	28,200
9	雑収益	0	0	0	0	0
10	受取利息	0	0	0	0	0
11	経常収益計	1,614,000	1,614,000	554,200	0	2,168,200
12	(2) 経常費用					
13	事業費	1,803,000	1,803,000			1,803,000
14	開発助成金	1,500,000	1,500,000			1,500,000
15	委員会議費	15,000	15,000			15,000
16	諸謝金	90,000	90,000			90,000
17	通信運搬費	60,000	60,000			60,000
18	消耗品費	50,000	50,000			50,000
19	賃借料	88,000	88,000			88,000
20	管理費			488,200	0	488,200
21	会議費			100,000	0	100,000
22	事務委託費			300,000	0	300,000
23	消耗品費			70,000	0	70,000
24	通信運搬費			15,000	0	15,000
25	雑費			3,200	0	3,200
26	経常費用計	1,803,000	1,803,000	488,200	0	2,291,200
27	評価損益等調整前当期経常増減額	△ 189,000	△ 189,000	66,000	0	△ 123,000
28	当期経常増減額	△ 189,000	△ 189,000	66,000	0	△ 123,000
29	他会計振替	66,000	66,000	△ 66,000	0	0
30	当期一般正味財産増減額	△ 123,000	△ 123,000	0	0	△ 123,000
31	一般正味財産期首残高					7,855,491
32	一般正味財産期末残高					7,732,491
33	<b>II 指定正味財産増減の部</b>					
34	受取補助金等	0	0	0	0	0
35	一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0
36	当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0
37	指定正味財産期首残高	200,000,000	200,000,000	0	0	200,000,000
38	指定正味財産期末残高	200,000,000	200,000,000	0	0	200,000,000
39	<b>III 正味財産期末残高</b>					207,732,491

注) 一般正味財産期首残高は令和2年度決算予測